

道糸入力方法「棚センサーブライト編」

P0 指定入力

指定入力とは当社棚センサーブライトまたはナイロン糸を巻かれるときに、次ページに記載の糸種・号数・巻き糸量の中から選択してセットするだけでデータが入力できる便利な方法です。
(タナセンサーブライト3号200mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

!
やけどに注意!

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピン (P.14参照) を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

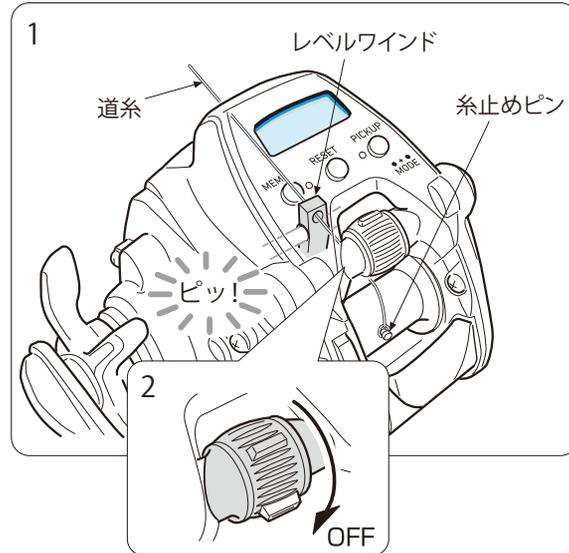
※ドラグを締め付けてください。

2. ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させ、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

※接続方法についてはP.8「電源とのつなぎ方」を参照ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。



!
注意

・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。

糸があたらないようにご注意ください。

・屋内で低速・高テンションで長時間 (※1) かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

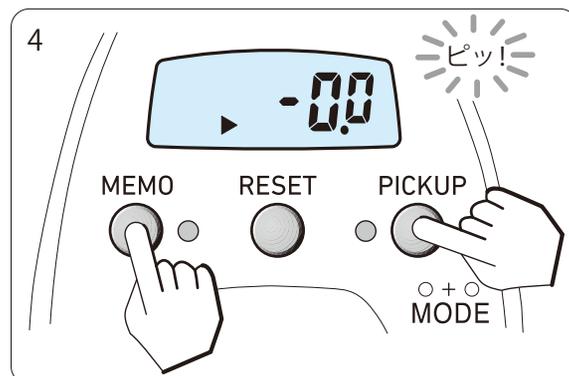
(※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0 (分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

4. 表示が **-0.0** のときに

MEMO (船止) スイッチと

PICKUP (チョイ止巻) スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。



※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。

5.初期設定PE3号ー200mの画面になります。

※ここで一旦スイッチを離してください。

6.ジョグパワーレバーで、ご使用になる糸と巻き量の組合せを選択してください。

- ・レバーを前に倒すと数値が上がります。
- ・レバーを元に戻すと数値下がります。

下表はデータ一覧表を示します。

選択可能なデータ一覧表

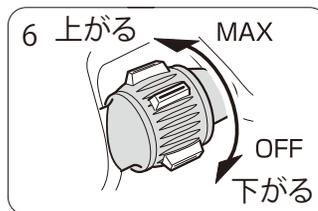
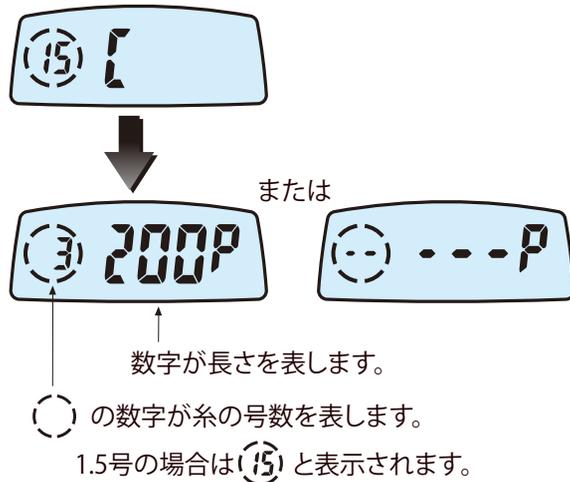
PE (右の表示がPの場合) (m)		ナイロン (右の表示がLの場合) (m)	
1.5号	450	3号	250
2号	300	4号	170
3号	200	5号	140
4号	170		

7.ジョグパワーレバーで数値が選択できたら、**PICKUP (チョイ止巻)** スイッチを押して完了です。

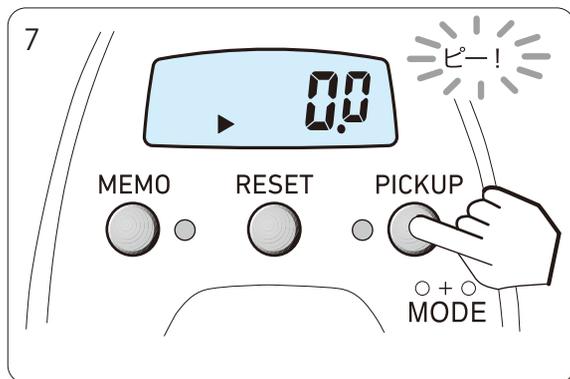
アラーム音が鳴り、表示 **0.0** の点滅が終われば完了です。

便利

※シーボーク200J-Lには、あらかじめ棚センサーブライツ3号ー200mのデータが入力されています。棚センサーブライツ3号ー200mを巻く場合は、データのインプットは不要です。



※図の場合ではPE3号200mのデータがセットされます。



道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」 P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時の便利な方法です。
(PE3号200mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

やけどに注意!

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピン(P.14参照)を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

2. ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させてください。

4. 表示が **0.0** のときに

MEMO (船止) スイッチと

PICKUP (チョイ止巻) スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。

5. 初期設定PE3号200mの画面になります。

※ここで一旦スイッチを離してください。

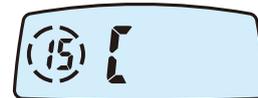
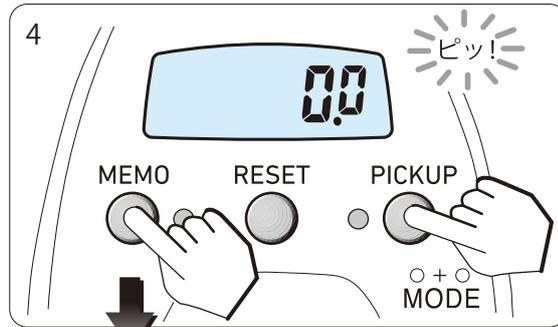
6. **PICKUP (チョイ止巻)** スイッチ

を1回押して糸長入力画面にします。

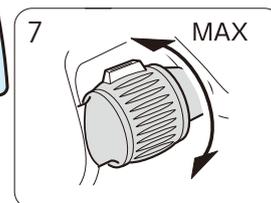
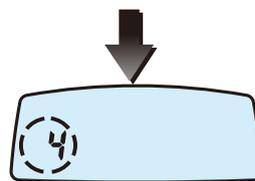
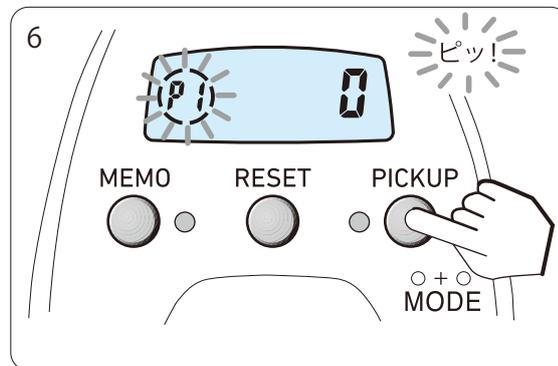
(**P1** が点滅します)

7. テンションを調整して、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し道糸を巻きます。

※パネル左下の数字が3~4になるようにテンションを調整してください。



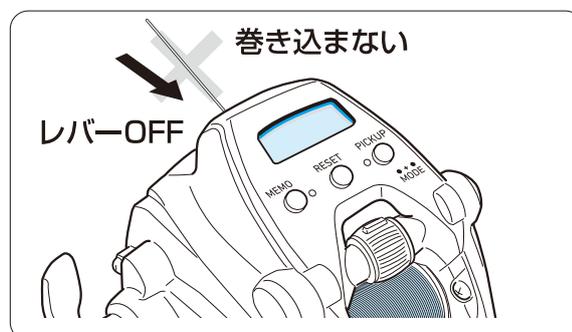
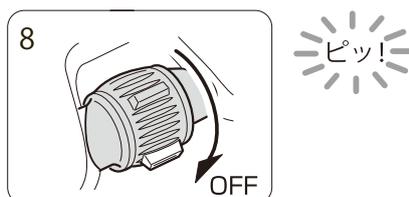
または



注意

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで長時間（※1）かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- （※1） 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0（分）とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

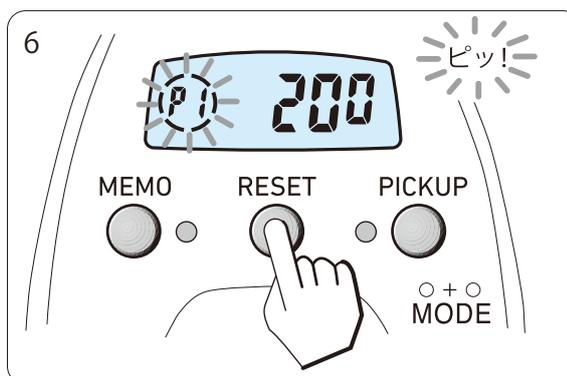
8. 巻き終わったらジョグパワーレバーをOFF位置まで戻します。（アラーム音）



注意

- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・この入力方法はPE0.8号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE0.8号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

9. **RESET (リセット) スイッチ** を2秒以上、表示が **200** mになるまで押してください。（200は初期設定値です。）

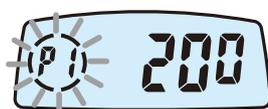


道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

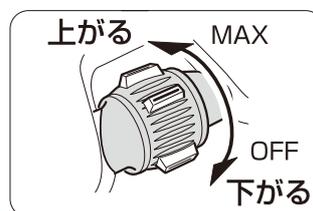
P1 糸長入力

10. ジョグパワーレバーで、道糸の長さを
セットします。

(図は、200mにセットした場合です。)
(セットする数値は、10m単位です。)



10

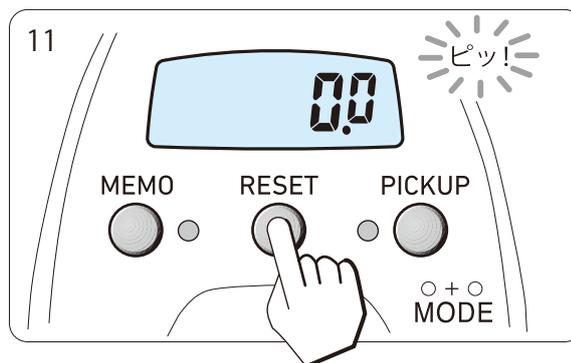


11. **RESET**(リセット) スイッチ

を2秒以上押してください。アラーム音が鳴り、表示 **0.0** の点滅が終われば完了です。

※ **Err** になった場合は、**PICKUP**(チョイ止巻) スイッチ

を押して始めから再度入力又は、引出し入力(P26,27)をしてください。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。

やけどに注意!

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 下巻用の糸をレベルワインドに通してスプールに結び、通电させてください。

※付属の糸通しピン(P.14参照)を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

2. 下巻用の糸を巻きます。

※ジョグパワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから出力してください。

※付属の下巻きゲージを使い下巻糸の量を調整してください。

3. 上糸をしっかり結びます。

4. 表示が **0.0** のときに

MEMO (船止) スイッチと

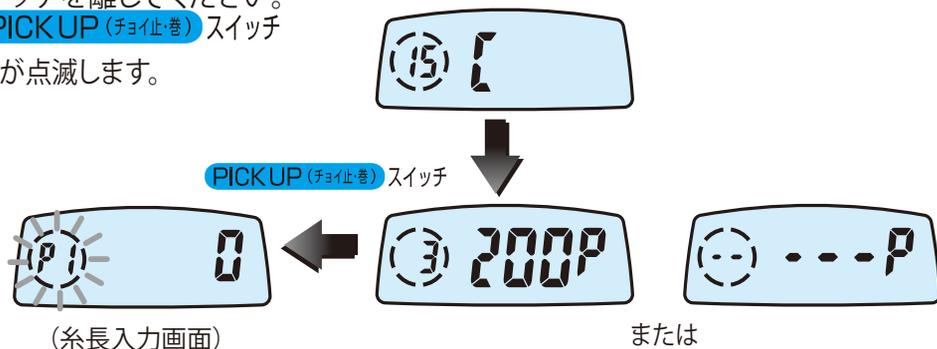
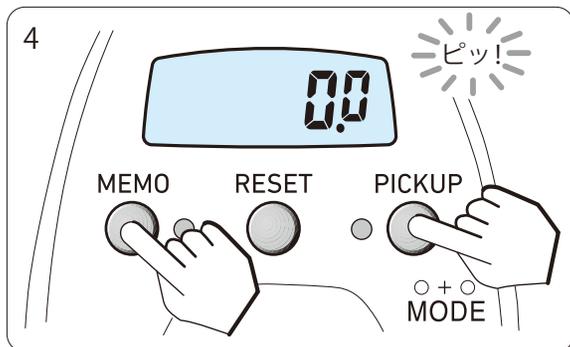
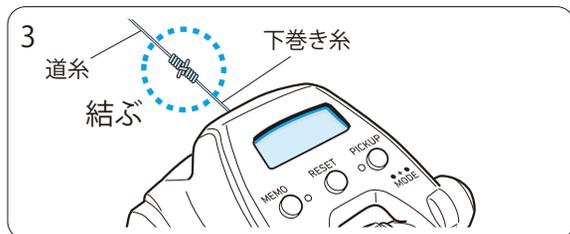
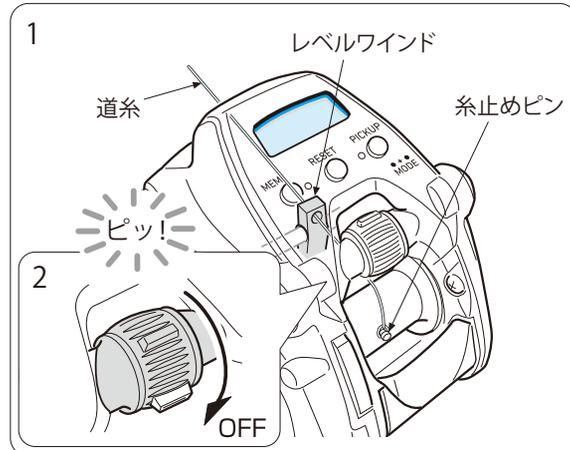
PICKUP (チョイ止巻) スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **P0** が点滅します。

※ここで一旦スイッチを離してください。

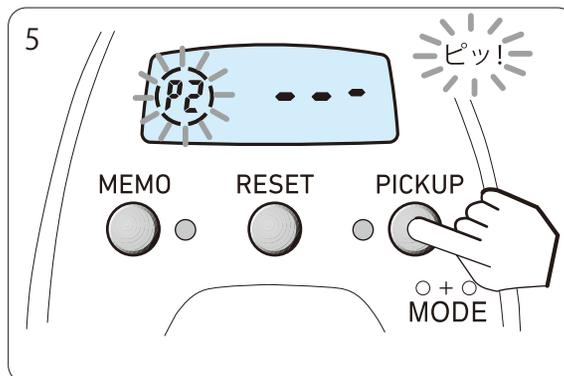
次にもう一度 **PICKUP (チョイ止巻)** スイッチを押すと **P1** が点滅します。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

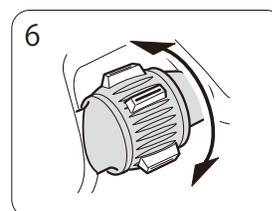
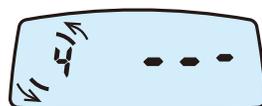
5. 糸長入力画面になったらもう一度 **PICKUP** (チョイ止巻) スイッチ を押して下巻き入力画面にしてください。
P2 が点滅します。



6. テンションをかけて糸色に注意しながら残り100mになるまで道糸を巻いてください。

糸を巻き取り始めると **P2** のまわりの枠が回転します。

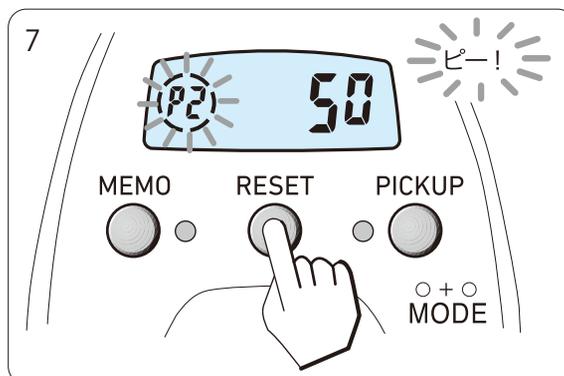
ジョグパワーレバーを倒すと **P2** がテンション表示に変わりますので3~4になるようにテンションを調整してください。



注意

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. **RESET** (リセット) スイッチ を2秒以上押してください。
P2 が点滅し、カウンターが **50** になります。



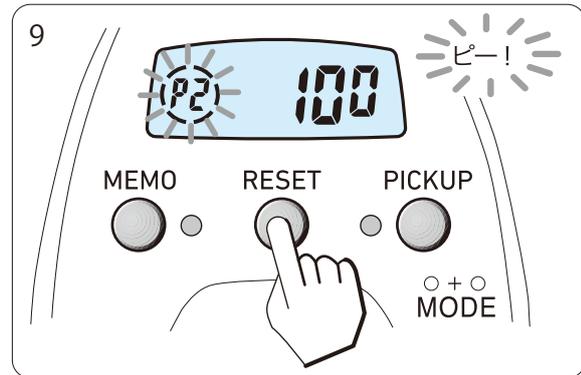
8. テンションをかけて糸色に注意しながら50m道糸を巻いてください。

9. **RESET(リセット)** スイッチ

を2秒以上押してください。

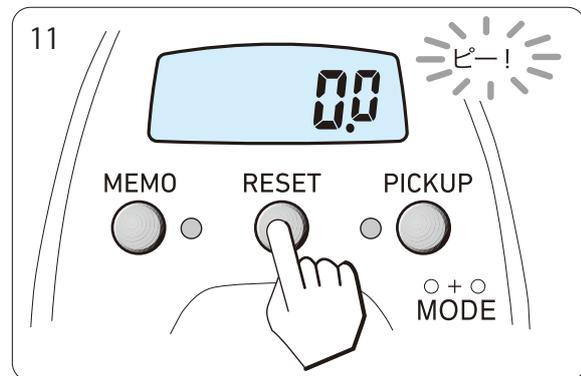
P2 が点滅し、カウンターが **100** になります。

10. テンションをかけて糸色に注意しながら残りの50mを巻いてください。



11. **RESET(リセット)** スイッチ

を2秒以上押して表示 **0.0** の点滅が終われば完了です。



注意

- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・PE0.8号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE0.8号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ **Err** になった場合は、**PICKUP** (チョイ止巻) スイッチ

を押して始めから再度入力又は、引出し入力(P26,27)をしてください。

道糸入力方法「引出し入力」

P3 引出し入力

道糸を巻き終わった状態から引き出して再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

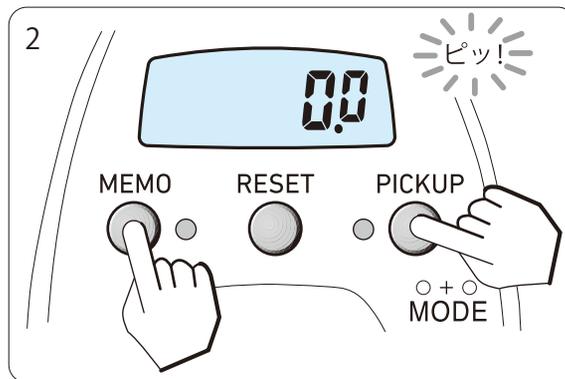
1. 通電させてください。

2. **MEMO (船止)** スイッチと
PICKUP (チョイ止巻) スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

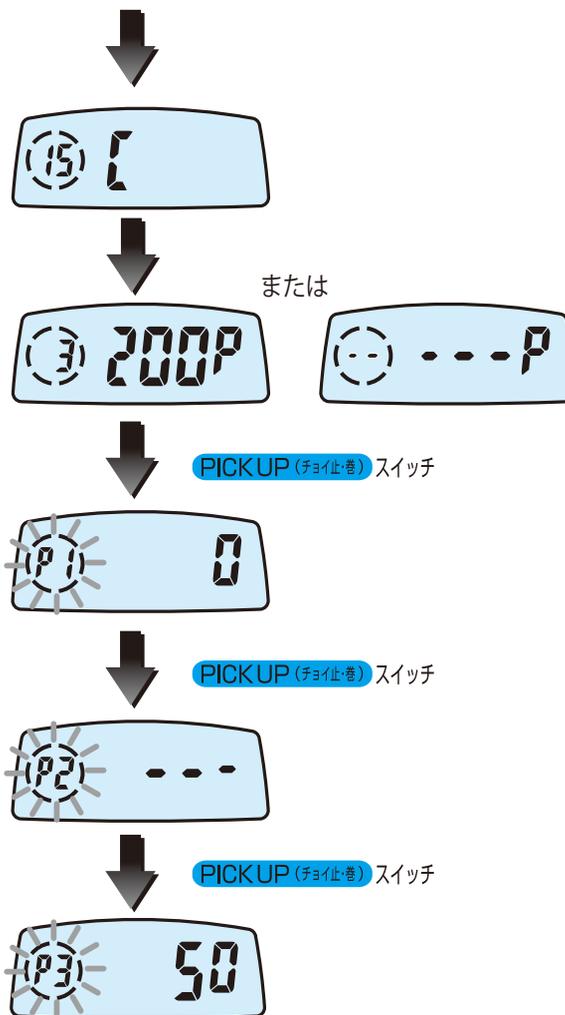
※チョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面に **P0** が点滅します。

※ここで一旦スイッチを離してください。



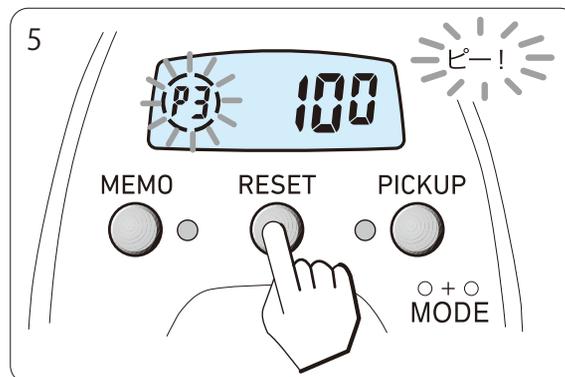
3. さらに **PICKUP (チョイ止巻)** スイッチ
を3回押して、引出し入力画面にしてください。

※ **P3** が点滅し、下のカウンターに **50** と表示されます。



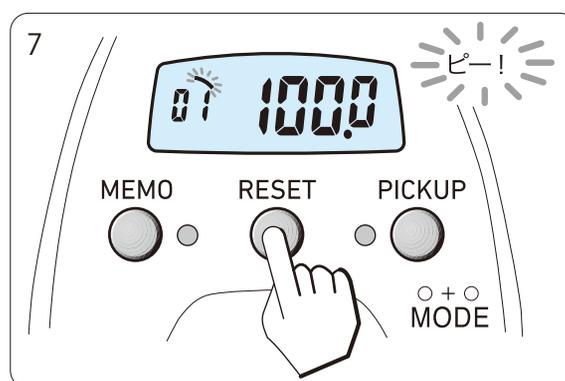
4.糸のマークに注意しながら、50m引き出します。

5. **RESET (リセット)** スイッチを2秒以上押してください。数字が **100** になります。



6.糸のマークに注意しながらさらに50m引き出してください。

7. **RESET (リセット)** スイッチを2秒以上押してください。数字が **100.0** になります。



8.引き出した糸を100m巻き取り完了です。



- 糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- PE0.8号未満の細糸は入力することができません。
- PE0.8号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ **Err** になった場合は、**PICKUP (チョイ止巻)** スイッチを押して始めから再度入力をしてください。